

ワークショップ実施報告

■開催日：6月11日（日） 午前の部：10：00～11：30 午後の部：14：00～15：30

■対象者：各務原市の小学生4～6年生とその保護者17組

テーマ	内容
テーマ① こんな教室がいい	I：普段の持ち物をどこに置いているか、教室の絵に丸シールを貼付 II：教室がどのようになって欲しいか、対象物に付箋でコメント
テーマ② こんな場所でこんなことをしたい	I：新しい学校のイメージ写真に、「誰と」「何を」するかが書かれた「行動シール」を貼付 II：Iの理由を付箋でコメント
テーマ③ 地域性について（保護者向け）	保護者に対して、学区の地域性（地域行事・活動）、学校の地域利用の状況等をヒアリング

○ テーマ①：「こんな教室がいい」の結果

I：現在の持ち物の収納場所

	ロッカーの中	机の引き出し	ロッカーの上	教室外	その他
ランドセル	19	—	—	—	—
体操服	2	—	—	2	11 (家から着ていく)
教科書	7	8	3	2	—
タブレット	—	3	4	1	—
絵具・習字道具	10	1	2	3	—

II：教室に対する意見

<ロッカー>

- ・空き教室に荷物を置いているが、教室の中にしまいたい
- ・教室によってはランドセルが入らないロッカーがある
- ・2人で1つのロッカーなので個人ロッカーが欲しい
- ・タブレットが充電できると良い
- ・大きなロッカーが教室外にあるとよい

<黒板・電子黒板>

- ・黒板は粉が落ちる
- ・電子黒板が光の反射で見えないときがある
- ・電子黒板は教科書の代わりになり良い
- ・黒板の方が書きやすい
- ・どちらにも良さがあるので両方あった方がよい

<教室>

- ・机との間、最後列とロッカーの間が狭い
- ・教室が狭い

テーマ①まとめ

- ・児童の持ち物は概ねロッカーの中や机の引き出しに収納されているが、ロッカーの上や廊下・空き教室に保管しているものも見られた。
- ・机の広さについて狭いと回答する児童より、引き出しが狭いと回答する児童の方が多く見られた。
- ・教室では、教室の大きさ、出入口の幅、飛行機の騒音対策、電子黒板の反射対策が、教室外では、廊下の狭さ、トイレの古さに対して意見が集まった。

<机>

- ・机が大きいと嬉しいが、重たくなるのは嫌
- ・机が小さい
- ・普段は狭いと思わないが、ドリルを使うと狭い
- ・引き出しが大きい方がいい
- ・机の大きさは今の大きさが良い

<窓・窓際>

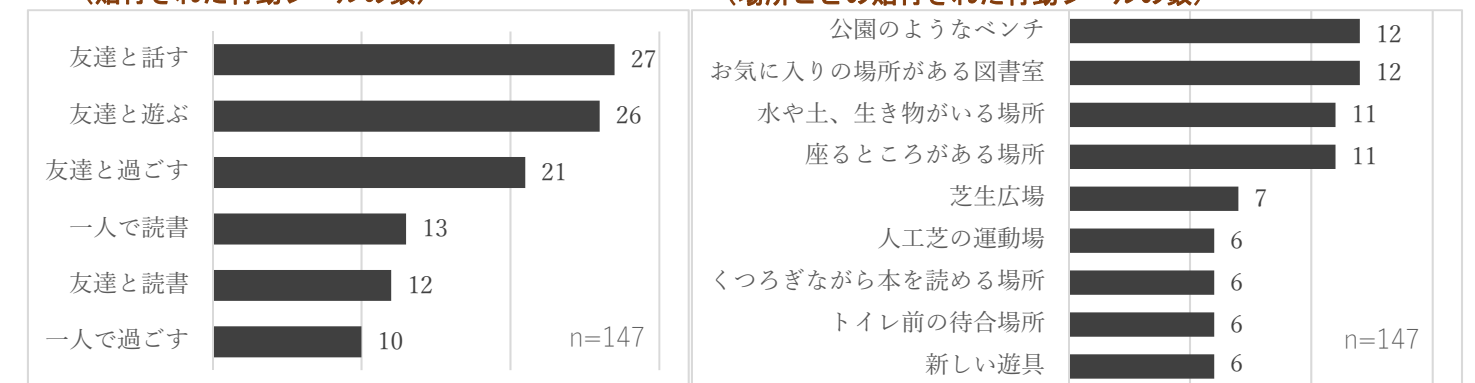
- ・廊下側に窓が欲しい
- ・窓際に空調が届かない
- ・息抜き外に出られる場所があるといい
- ・工事の音や飛行機の音がとてもうるさい

<廊下・オープンスペース>

- ・体操服をかけるフックに引っ掛かりそうになる
- ・廊下が狭いため広くしてほしい
- ・けがをする人が多いので広い方がいい
- ・廊下にロッカーがあれば教室が広く使える

○ テーマ②：「こんな場所でこんなことをしたい」の結果

I：学校でどんな過ごし方をしたいか 上位6行為 (貼付された行動シールの数) どんな場所で過ごしたいか 上位9か所 (場所ごとの貼付された行動シールの数)



II：行為ごとの環境と代表的な理由 各環境上位3か所 (丸数字は貼付された行動シールの数)

「話す」環境

1. 水や土、生き物がある場所 ⑥
2. 自由に使える広いホール ③
3. 公園のようなベンチ ④

「遊ぶ」環境

1. 人工芝の運動場 ④
2. 芝生広場 ④
3. 新しい遊具 ④

「勉強」環境

1. 大きい机、高さを調整できるイス ③
2. やわらかい雰囲気のある図書館 ②
3. 色々な資料がある場所 ② 他2か所

「過ごす」環境

1. 公園のようなベンチ ⑦
2. 座るところがある場所 ⑤
3. トイレ前の待合場所 ④

「読書」環境

1. お気に入りの場所がある図書室 ⑩
2. くつろぎながら本を読める図書室 ⑥
3. 座るところがある場所 ③

代表的な理由

- ・【水や土・生き物がある場所】…先生や友達と観察会ができる場所が欲しい
- ・【人工芝の運動場】…土だとけがをしたり、汚れたりするので芝生の方が良さそう
- ・【大きい机、高さを調整できるイス】…個人の体型に合わせられるから欲しい、机、イスが小さい子がいる
- ・【公園のようなベンチ】…外でも座って話せる場所が欲しい、外でも日よけや屋根があると良い
- ・【座るところがある場所】…教室以外に座って話せると良い、違うクラスの子と話ができる
- ・【お気に入りの場所がある図書室】…放課後でも良いので図書室など学校でゆっくり過ごせる時間が欲しい
- ・【くつろぎながら本を読める図書室】…みんなで読書する場所と静かに読書できる空間の両方が欲しい
- ・【みんなで給食を食べられるランチルーム】…ご飯を食べながらみんなとお話したい
- ・【落ち着ける狭い場所】…ひとりで過ごしたい時もある

テーマ②まとめ

- ワークショップでは、基本方針では検討されてこなかった児童目線の過ごし方・居場所について意見が上がった。
- ・貼付された行動シールから、児童たちは学校を勉強だけでなく、友達と話し、遊び、過ごす場所であると認識しており、それらができる環境を求めていることが分かった。
 - ・これら「話す」、「遊ぶ」、「過ごす」の行為は、教室内で完結するのではなく、廊下のような共用スペースや屋外で自分の好きな場所で、好きな友達と一緒にいたいという思いから来ていることが分かった。
 - ・屋外では、生き物などの自然を感じられる場所や、ベンチに座れる場所、景色を見渡せる場所に意見が集まり、ボール遊びや鬼ごっこのようなグラウンドを使った遊び以外の外での過ごし方を求めていることが分かった。
 - ・また、雨の日でも遊べる場所や体育館の開放といった意見も上がった。
 - ・読書に適した場として、自分の好きな場所で好きな体勢で本を読める図書室を求める意見が多く上がった。
 - ・一方で、図書室では調べものをしたり、友達と勉強したりして過ごしたいといった意見もあり、多様な居場所、機能が求められていることが分かった。